

学習の指針（シラバス）

教科名	社会	実施学年	2年	週時数	3時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・地理的・歴史的事象に関心を持ち、自ら興味を持って主体的に学ぶことができる。
- ・地理的・歴史的事象について、資料から読み取ったことを基に思考し、自分の考えを表現することができる。
- ・言語活動を通して、仲間とコミュニケーションをとりながら、課題を解決するために協力できる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	〔地理〕 45時間 第2編 世界のさまざまな地域 ●2章 世界の諸地域 ・6節 オセアニア州	・世界の諸地域について、それぞれの州の地域的特色を理解する。	7時間	中間テスト ノート点検 ワークへの 取り組み 期末テスト ノート点検 ワークへの 取り組み
	5	第3編 日本のさまざまな地域 ●2章 日本の地域的特色と地域区分	・日本の資源・エネルギー消費について、世界的視野から現状をとらえ、理解できる。	10時間	
	6	●2章 日本の諸地域 ・1節 九州地方 ・2節 中国・四国地方	・日本産業の特色を農林水産業、工業、商業・サービス業の3つの分野からとらえることを通して、それぞれの産業が抱える課題について考察できる。	35時間	
	7	・3節 近畿地方 ・4節 中部地方 ・5節 関東地方	・日本の各地域を大観し、地域ごとに気候や風土に基づく特色をまとめ、理解できる。 ・地域的特色ある事象を、ほかの事象と関連付けて考察できる。		
第2学期	9	・6節 東北地方 ・7節 北海道地方			中間テスト ノート点検 ワークへの 取り組み レポートへの 取り組み 期末テスト ノート点検 ワークへの 取り組み
	10	●4章 身近な地域の調査	・身近な地域の調査を通して、地域的特色をとらえる視点や地域調査の方法、地理的なまとめ方や発表の方法を身につける。	3時間	
	11	〔歴史〕 50時間 ●4章 近世の日本 ・1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	・西欧で変化が生じ、それがどのような変化を日本に与えたのかを捉え、日本という国家の変容を具体的に考察できる。	30時間	
	12	・2節 江戸幕府の成立と鎖国	・江戸幕府の成立から、幕府の支配の仕組みや政治の動きの流れとして理解できる。		

第3学期	1	・3節 産業の発達と幕府政治の動き	・農業などの諸産業や都市・交通網の発達、また様々な改革の動きについて、資料を基に考察できる。	20時間	学年末テスト ノート点検 ワークへの 取り組み
	2	●5章 開国と近代日本の歩み ・1節 欧米の進出と日本の開国	・産業革命による欧米の発達・アジアへの侵略と、日本の開国の関連性について考察できる。		
	3	・2節 明治維新	・明治政府の支配の仕組みや諸改革について、江戸時代と比較しながら理解できる。		

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
社会的事象についての知識・技能	社会的事象の知識及び技能の習得状況と、知識及び技能を関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。	・定期テスト ・小テスト
社会的な思考・判断・表現	社会的事象の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	・定期テスト ☆授業ノート・プリント ☆授業中の記録 ・レポート
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象の知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしている。	☆授業中の記録 ☆振り返り ・ワークへの取り組み ☆授業ノート・プリント ・レポート

☆印の項目は、授業を欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・ノートはB5サイズ以上のものを使用してください。（プリントがB5～B4サイズのため。）A4サイズやリングノートを使用してもかまいません。
- ・副教材としてワークを購入しますので、日頃から復習で活用してください。定期的に提出してもらいます。ワークの答えを書き込む整理ノートがありますので、そちらに書き込んでください。（繰り返し学習できます。）日常的に、授業でやった部分のワークを進めておけるとよいです。
- ・夏休みに宿題を出します。（昨年度：“社会を明るくする運動”作文）計画的に取り組んでください。

5 教材等について

- ・教科書：東京書籍「新しい社会 地理」・「新しい社会 歴史」
- ・地図帳：帝国書院「中学生社会科地図」
- ・副教材：新学社「地理資料集 世界・日本」、とうほう「みつけよう？と！歴史資料」
学宝社「学習整理 地理」・「学習整理 歴史」
- ・その他：教科書・ノート・ワーク・資料集・（地理では地図帳）は毎時間の授業で使用します。
のり、はさみ、色鉛筆を使用することがあります。準備しておいてください。